

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立博物館・美術館	対象年度	平成30年度
------	-------------	------	--------

【目次】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
2. 運營業務	6
(1) 利用実績		
1) 利用者数等		
2) 施設稼働率		
3) 教室・イベント等参加者数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 広報		
(5) 情報管理		
3. 自主事業	13
II. サービスの質の評価	14
1. 維持管理業務		
2. 運營業務		
3. 自主事業		
4. 総合評価		
III. サービスの安定性評価(財務状況)	15
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	17
1. 目標		
2. 評価結果		

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立博物館・美術館	対象年度	平成30年度
指定管理者	一般財団法人 沖縄美ら島財団 指定期間：平成28年4月～令和3年3月	所管課	文化観光スポーツ部 文化振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>清掃と衛生管理の徹底を図り誰もが快適に利用できる施設環境を整えます。</p> <p>①展示エリア (展示室等) ②収蔵エリア (収蔵庫等) ③教育普及エリア (実習室等) ④調査研究エリア (学芸員研究室等) ⑤管理エリア (エントランスホール等) ⑥その他 (廊下、階段等) ⑦屋外付帯施設 (駐車場、外周等)</p>		○	<p>〈日常清掃〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の環境を維持し、快適な環境を保つため、日常清掃を計画的に実施。 ・開館中は、各トイレの巡回点検清掃を計画的に行い、各展示室のガラス部分の手アカ等の拭取り、館内に持ち込まれた土砂の清掃、汚れの除去等巡回清掃の強化を行い、お客様がいつでも快適に施設を利用できるよう心がけた。 <p>○ 定期清掃)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館外周の落ち葉の回収、除草、ごみ拾いを適時実施。 ・共有部、展示室内床面の洗浄、保護剤塗布作業を適時実施。 ・IPM関連に基づき、月1回各展示室、収蔵庫等及びふれあい体験室の立体面の除塵作業を博物館・美術館学芸員の立ち会いのもと行った。 ・各フロアのカーペット床面を洗浄機にてカーペット洗浄実施 	<p>指定管理者及び委託先の清掃担当者にヒアリングを実施するとともに、作業計画書、清掃点検表及び清掃業務日報の確認を行った。</p>	<p>仕様書どおり毎日(場所により週2回)の日常清掃と、年3～6回の定期清掃が適切に実施されていた。</p>	<p>良好に実施された。</p>

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1. 施設管理 ①空気調和設備 ②消防設備 ③昇降機設備 ④自家用電気工作物 ⑤駐車場装置 ⑥自動扉開閉装置 ⑦電熱式ユニット型加湿器 ⑧植栽 2. 講堂等設備 ①映写機 ②音響・映像設備 ③舞台機構設備		○	施設の維持管理にあたり定期保守点検業務を行い機器等のトラブルの無いように努めた。	委託先へのヒアリングを実施するとともに、中央監視設備日報、業務実施工程表及び設備点検日誌(各設備ごと)等の確認を行った。	仕様書や標準点検周期、関連法令に基づき、適切に実施されていた。	良好に実施された。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1. 警備業務 ① 出入り管理業務 ② 防災監視業務 ③ 開館・閉館業務 ④ 全館巡回業務 ⑤ 非常時の応急処置 2. 駐車場管理業務 ① 駐車場管理業務		○	<p>〈警備業務〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通用口での入退館者のチェックの強化を図るとともに記録の厳正化を徹底した。 ・最終退館者からの事務室鍵の引継ぎを確実に行った。 ・夜間来館者には注意深く対応した。 ・火災、事故、盗難等の発生を未然に防ぐため、館内外及び周辺の巡回監視を強化した。 ・付帯設備の日常点検を行い、不備箇所の早期発見に努めた。 ・不審者、不正行為者、徘徊者等に適正に対応した。 ・鍵の貸し出しに細心の注意を払い、鍵借用簿の管理を徹底した。 ・館内外における拾得物は、総合案内に速やかに届けるとともに夜間・休館日も巡回監視に努めた。 <p>〈駐車場業務〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場及び周辺では人身の安全を第一に監視に努めた。 ・管理用機器で監視に努めた。 ・駐車場におけるライト点灯車両、窓空き車両、故障車両等に適宜対応した。 ・春、秋の団体見学集中期間、バス駐車場の誘導を効率的に対応した。 	指定管理者及び委託先の警備担当にヒアリングを実施するとともに、勤務月間予定表、鍵借用簿、警備日報、警報発令履歴の確認を行った。	仕様書どおり昼間3～4名(駐車場管理含む)、夜間2名が配置されていた。また、警備日報も詳細に記録されており、適切に実施されていた。	良好に実施された。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設の修繕補修は、1件につき20万円(消費税及び地方消費税含む)未満のものについては指定管理者の責任の範囲において実施。	○		施設の修繕補修は、1件につき20万円(消費税及び地方消費税含む)未満のものについては指定管理者の責任の範囲において実施した。 (修繕例) ・照明制御盤購入及び取替 ・博物館バックヤード天井ドレン管保温材張替	施設の機能維持、安全管理のための修繕が実施されていた。	適切に実施されていた。	良好に実施された。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要な機器については県と相談し整備する。	○		デスクトップ×2台	物品を確認したところ、適切に実施されていた。	適切に実施されていた。	良好に実施された。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>事件・事故・災害等のリスクを予め想定して対策と訓練を行い、お客様と資料の安全確保に努めます。</p>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、事故、盗難等の発生を未然に防ぐため、館内外及び周辺の巡回監視を強化した。 ・付帯設備の日常点検を行い、不備箇所の早期発見に努めた。 ・不審者、不正行為者、徘徊者等に適正に対応。 ・鍵の貸し出しに細心の注意を払い、鍵借用簿の管理を徹底した。 ・館内外における拾得物は、総合案内に速やかに届けるとともに夜間・休館日も巡回監視に努めた。 ・通用口での入退館者のチェック強化を図るとともに記録の厳正化を徹底した。最終退館者からの事務室鍵の引継ぎを確実に行った。 ・夜間来館者には注意深く対応した。 	<p>指定管理者及び委託先の警備担当にヒアリングを実施するとともに、勤務予定表、鍵借用簿、警備日報及び警備発令の確認を行った。</p> <p>12月17日に、県警や消防などと合同で、サリンが館内にまかれた想定でのテロ対処訓練等について説明を受けた。</p>	<p>適切に実施されていた。</p>	<p>良好に実施された。</p>

<p>1. 維持管理業務取組改善案</p>	<p>前年度に引き続き適切な管理業務が実施された。今後も適正な施設の維持管理等に努める。</p>
-----------------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H31年度)の主な取組改善案を記入してください。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		H29実績	事業計画 (目標値)	H30実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	有料入館者数	255,831人	212,840人	248,071人	97.0%	116.6%	合計は、計画値を上回っているものの、無料入館者については、計画を上回れるよう誘客に向けて取り組む必要がある。
	無料入館者数	252,991人	271,160人	256,823人	101.5%	94.7%	
	計	508,822人	484,000人	504,894人	99.2%	104.3%	
					評価(①利用状況)		A

【評価基準(①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

2) 施設稼働率

準備片付けも

		H29実績	事業計画 (目標値)	H30実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
全館		300日	300日	299日	99.7%	99.7%	展示準備、片付け、開催期間を含めた稼働率からは概ね良好に実施された。ただし、美術館企画展示室の稼働率を90%以上に引き上げるのが課題である。
博物館	常設展示室	300日	300日	299日	99.7%	99.7%	
	企画・特別展示室	270日	300日	284日	105.2%	94.7%	
美術館	コレクション展	270日	285日	284日	105.2%	99.6%	
	企画展示室	215日	300日	262日	121.9%	87.3%	
県民ギャラリー1		256日	300日	243日	94.9%	81.0%	県民ギャラリーは、前年度より稼働率が低下しているため、より稼働率が上がるよう取り組む必要がある。
県民ギャラリー2		223日	300日	205日	91.9%	68.3%	
県民ギャラリー3		211日	300日	178日	84.4%	59.3%	
					評価(①利用状況)		B

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

【評価基準(①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

参考) 3年間の利用者数

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	有料入館者数	148,214人	255,831人	248,071人
	無料入館者数 (展示室以外の無料者も含む)	287,025人	252,991人	256,823人
	合計	435,239人	508,822人	504,894人

参考) 3年間の施設稼働率

稼働日数 (稼働率)		平成28年度	平成29年度	平成30年度
全館		299日 (100%)	300日 (99.0%)	299日 (99.7%)
博物館	常設展	293日 (100%)	300日 (99.0%)	299日 (99.7%)
	企画・特別展	229日 (76.6%) <small>※準備、片付けは含まない</small>	270日 (89.1%) <small>※準備、片付けを含む</small>	284日 (94.7%) <small>※準備、片付けを含む</small>
美術館	コレクション展	287日 (100%)	270日 (100%)	284日 (99.6%)
	企画展	192日 (64.2%)	215日 (71.0%)	262日 (87.3%)
県民ギャラリー1		248日 (82.9%)	256日 (84.5%)	243日 (81.0%)
県民ギャラリー2		223日 (74.6%)	223日 (73.6%)	205日 (68.3%)
県民ギャラリー3		175日 (58.5%)	211日 (69.6%)	178日 (59.3%)

参考) 3年間の県外入館者(観光客)数 ※推定値

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
レンタカー	17,200人	17,361人	20,690人	平均して2.5人が乗車しているとみなし算出。
タクシー	10,168人	9,897人	11,115人	平均して2.5人が乗車しているとみなし算出。
モノレール	10,067人	12,187人	10,132人	モノレール1日利用券を提示し、割引を受けた来館者を観光客とみなして算出
県外団体	300人	679人	956人	
県外修学旅行	6,052人	4,112人	3,978人	
国外団体	2,095人	1,338人	1,132人	
合計(a)	45,882人	45,574人	48,003人	
年間総入館者数(b)	435,239人	508,822人	504,894人	
入館者数に占める割合 (a)/(b)	10.5%	9.0%	9.5%	
年間入域観光客数(C)	8,769,200人	9,579,900人	9,999,000人	
入域観光客数に占める割合(a)/(c)	0.52%	0.48%	0.48%	

※レンタカー、タクシーによる来館及びモノレール1日利用券を提示し、割引を受けた来館者を県外からの来館者(観光客)とみなして算出。

3) 展覧会入場者実績

	内容	事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率%)	現状分析 ・課題
博物館 入場者 数 (人)	常設展 (企画：県) (広報：指)	有料：50,400人	74,611人	148.0%	合計は計画より 高い実績になって いるが、計画 値より下回って いる展覧会があ るので、引き続 き誘客に向けた 取り組みを実施 する必要がある。 。
		無料：29,600人	35,054人	118.4%	
	企画展・特別展 (企画：指2本、 県3本) (広報：指) ※「縄文と沖縄－火焰 型土器の進歩リズムと ヒスイの道」のみ特別 展。	新収蔵展：(県) 1,600人	新収蔵展：(県) 1,736人	108.5%	
		ティラノサウルスー進化の謎 に迫るー：(指) 72,800人	ティラノサウルスー進化の 謎に迫るー：(指) 75,926人	104.3%	
		MONGOL800gaEXHIBITION: (指) 12,740人	MONGOL800gaEXHIBITION: (指) 8,012人	62.9%	
		沖縄が誇る家宝の三線展： (県) 3,040人	沖縄が誇る家宝の三線展： (県) 3,965人	130.4%	
		大嶺薫展：(県) 1,220人	大嶺薫展：(県) 285人	23.4%	
		小計：91,400人	小計：89,924人	98.4%	
		縄文と沖縄：(県)：7,280人	縄文と沖縄：(県) 6,842人	94.0%	
		(有料) 合計：98,680人	(有料) 合計：96,766人	98.1%	
		新収蔵展：(県) 400人	新収蔵展：(県) 692人	173.0%	
		ティラノサウルスー進化の謎 に迫るー：(指) 7,200人	ティラノサウルスー進化の 謎に迫るー：(指) 7,997人	111.1%	
		MONGOL800gaEXHIBITION: (指) 260人	MONGOL800gaEXHIBITION: (指) 1,310人	503.8%	
		沖縄が誇る家宝の三線展： (県) 760人	沖縄が誇る家宝の三線展： (県) 1,105人	145.4%	
		大嶺薫展：(県) 780人	大嶺薫展：(県) 275人	35.3%	
		小計：9,400人	小計：11,379人	121.1%	
		縄文と沖縄：(県)：720人	縄文と沖縄：(県) 895人	124.3%	
		(無料) 合計：10,120人	(無料) 合計：12,274人	121.3%	

美術館 入場者 数 (人)	コレクション展 (企画：県) (広報：指)	有料:11,000人	有料：32,654人	296.9%
		無料:9,000人	無料：15,110人	167.9%
	企画展 (企画：指2本、県2 本) (広報：指)	涯テノ詩声 詩人吉増剛造 展：(県) 1,650人	涯テノ詩声 詩人吉増剛造 展：(県) 2,022人	122.5%
		追悼水木しげる ゲゲゲの 人生展：(指) 28,210人	追悼水木しげる ゲゲゲの 人生展：(指) 28,500人	101.0%
		宮城健盛展：(県) 1,340人	宮城健盛展：(県) 1,656人	123.6%
		新海誠展：(指) 12,740人	新海誠展：(指) 11,862人	93.1%
		(有料) 合計：43,940人	(有料) 合計:44,040人	100.2%
		涯テノ詩声 詩人吉増剛造 展：(県) 850人	涯テノ詩声 詩人吉増剛造 展：(県) 658人	77.4%
		追悼水木しげる ゲゲゲの 人生展：(指) 2,790人	追悼水木しげる ゲゲゲの 人生展：(指) 4,274人	153.2%
		宮城健盛展：(県) 660人	宮城健盛展：(県) 706人	107.0%
		新海誠展：(指) 260人	新海誠展：(指) 869人	334.2%
(無料) 合計：4,560人	(無料) 合計:6,507人	142.7%		
入場者数合計	257,300人	317,016人	123.2%	

(2) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>①来館者に接する発券、もぎり、総合案内のスタッフに、館の状況を総合的に把握するリーダーを配置し、臨機応変な来館者サービスを行います。</p> <p>②海外からのお客様も安心して快適に利用できる環境づくりを推進するため、英語での対応が可能なスタッフを配置し、ピクトグラムを活用した「コミュニケーション支援ボード」を整備します。</p>	○	○	<p>来館者サービスの向上を目指し、沖縄美ら島財団スタッフ、委託業者等に所属するバイトスタッフの全体研修を実施した。「IPMの取組」・「非常時の避難誘導とAEDの使用方法」・「マニュアル研修」・「グループディスカッション」を行った。</p> <p>来館者サービスの業務に携わるスタッフの意識向上と情報共有を図るとともに、リーダーを配置し、サービスの向上に努めた。</p> <p>その他、企画展の開催前には展示交流員を対象とした研修を実施し、展示概要、監視業務を行う上での注意事項などの研修会を行った。</p>	<p>適切なサービスが行われた。アンケートでは「スタッフの対応」に対する満足度が高い。「非常に満足」、「やや満足」の割合が約94.4%。「非常に不満」、「やや不満」が5.6%。）</p> <p>※アンケート結果の%は、スタッフ接客対応4項目(①総合案内、②チケット販売、③展示室、④駐車場)の平均。</p>	<p>事業計画どおり適切に実施している。</p>	<p>全体として、90%を超えているので、引き続き維持できるよう努める必要がある。</p> <p>アンケートの要望等にも対応しつつ、引き続き質の高いサービスの提供に努める必要がある。</p> <p>①総合案内係 95.7% ②チケット販売係 95.4% ③展示室係 92.7% ④駐車場係 93.2%</p>

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>県民・観光客に「選ばれる」ために、積極的な誘客・広報活動を行います。</p> <p>①「県内外広報ネットワーク」を活用した誘客につながる情報発信</p> <p>国内外での観光プロモーションや県内老人会への個別訪問、お客様の手に本館の情報が直接届く「スマホアプリ」の活用まで、広域かつ緻密なネットワークを活かした広報・プロモーションの展開</p> <p>②国内外の観光客に「選ばれるための」積極的な誘客・広報活動</p> <p>旅行社とタイアップした「ツアー等旅行商品」の作成や、修学旅行の誘致、周辺ホテル・商業施設と連携した誘客広報、県外観光客・海外観光客向けの誘致活動</p> <p>③質の高い広報を支える「豊富な人材」の活用</p> <p>沖縄美ら海水族館及び海洋博公園・首里城公園の広報・PR経験者を「企画広報事業部責任者」に配置し、当財団の実績豊富なデザイナーやIT技術者が、デザイン制作及びITを活用したPRのバックアップ</p>	○		<p>年間行事案内を1万5千部作成し、県内外の文化施設等へ配付した。</p> <p>チラシ・ポスターを県内の学校、図書館、文化施設等に配付した。</p> <p>季刊で広報誌を発行した。</p> <p>懸垂幕を館正面入口に設置した広報を行った。</p> <p>沖縄美ら海水族館・首里城公園と連携した、トートリップキャンペーンを実施し、ノベルティグッズを制作した。</p> <p>おもろまち駅改札外付近に館までの誘導サインとして、立て看板と天吊パネルを設置し、導線をよりわかりやすくした。</p> <p>新聞紙面に無料、有料広告の掲載した。</p> <p>ニュース報道及びテレビコマーシャルによる広報を行った。</p> <p>ラジオの無料告知及び有料コマーシャルによる広報を行った。</p> <p>インターネットの無料広告サイトによる広報を行った。</p> <p>周辺商業施設5カ所に当館専用のパンフレット設置装置を設置し、年間行事案内や割引券を設置した。</p> <p>県民や観光客により親しみやすい施設となるよう誕生した公式マスコットキャラクター「おきみゅー」の誕生祭やスタンプラリーを実施。</p> <p>東京で開催された「2018 ツーリズムEXPOジャパン」にブースを出展した。</p>	<p>月間報告及び各媒体への確認、指定管理者へのヒアリングにより実施。</p>	<p>概ね事業計画どおりに実施されていた。</p>	<p>様々な広報媒体を活用して館のPRが展開されていた。</p> <p>平成30年度は、会館記念日にあわせて誕生祭を行うなど、様々な取り組みを行った。</p> <p>限られた予算内ではあるが、各展示会の広報について、博物館班・美術館班と調整の上、展開していく必要がある。</p>

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
本館の基本理念及び管理規則を遵守するとともに個人情報の保護を徹底し、公平・公正で開かれた館の運営を行います。	○		情報システム管理保守を適正に行った	適切に実施されていた。	適切に実施されていた。	良好に実施された。

3. 自主事業

(1) 展覧会

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
別添①自主事業一覧にて取りまとめ						

(2) その他 (ミュージアムショップ、カフェ)

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用者の利便性向上を図るため、公有財産の目的外使用を沖縄美ら島財団に許可している。ミュージアムショップは、沖縄美ら島財団の直営、カフェは委託して運営されている。	○	○	ミュージアムショップ 【収益】 4,700万円 (H29年度5,155万円) 【購入客数】 22,132人 (H29年度20,833人) カフェ 【収益】 2,275万円 (H29年度2,380万円) 【客数】22,803人 ※(H29年度12,089人)	/	/	H29年度は高単価な企画展商品が多く売れ、収益を押し上げた。 H30年度は集客に力を入れ購入客数を増やし、前年度の収益額には至らなかったものの利益は増加した。 今後は企画展と連動した魅力ある品揃えをするとともに、定番商品の強化が課題である。 ※カフェのH29年度客数は、当初1会計当たり1人とカウントしていたが、年度途中から導入したレジスターでは入店者数を集計できたため、カウント方法に誤差がある。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	利用者数(入館者数)の合計は、計画値を上回っているものの、無料入館者については、計画を上回れるよう誘客に向けて取り組む必要がある。 施設稼働率については、県民ギャラリーが、前年度より稼働率が低下しているため、より稼働率が上がるよう取り組む必要がある。 平成30年度も自主事業として多くの企画展を開催し、観覧者数が平成29年度に比べ120%増となった。今後も誘客に繋がる自主事業の実施に取り組んでいく必要がある。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H31年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅱ. サービスの質の評価

第三者評価について

総合アンケートを実施。

【総合アンケート】

回収期間：H30.4～H31.3

回収件数：3,299件

回収方法：正面玄関入口等に設置

※各アンケートの詳細は別添②参照

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者自己評価	現状分析・課題
	H29評価	目標	H30評価		
維持管理業務 施設・設備管理	〈満足度〉86% (※1) ・満足28% ・やや満足58% ・やや不満9% ・不満5%	—	〈満足度〉91% (※1) ・満足33% ・やや満足58% ・やや不満7% ・不満2% 〈改善要望〉 「キャプションが見づらい」「順路がわかりにくい」「休憩スペースを増やしてほしい」「空調が寒い」などの意見があった。	S 大きな事故や災害などの発生もなく、業務仕様書、管理規則等に基づいて、適切に管理を行った。また、施設設備の保守点検や清掃を徹底し、安全に務めた。IPMにおいては、月例で全館合同IPM会議を主催するなど積極的に活動した。	満足度は高く、評価できる。改善要望については、県定期的に開催している連絡調整会議などで協議しながら対応する必要がある。
運営業務 接客対応	〈満足度〉98% (※1) ・満足67% ・やや満足31% ・やや不満1% ・不満1%	—	〈満足度〉95% (※1) ・満足40% ・やや満足55% ・やや不満4% ・不満1% 〈改善要望〉 「足音がうるさい」「スタッフの接客マナーの改善が必要」「監視されている」などの指摘があった。	S 接客スタッフを対象に、来館者サービスの向上を目的とした研修会を毎年更新内容とともに実施。また、企画展ごとの勉強会や改善点の共有を積極的に行い、スタッフの育成に努めてきた結果、大きなトラブルもなく、スムーズに対応することができた。	平均満足度は高く、評価できる。スタッフの対応については、概ね好意的な意見であったが、改善要望があった内容については、丁寧な接客対応に取り組むとともに、引き続き研修等の充実が望まれる。
展示	〈満足度〉94% (※1) ・満足53% ・やや満足41% ・やや不満3% ・不満3%	—	〈満足度〉93% ・満足53% ・やや満足40% ・やや不満5% ・不満2% 〈改善要望〉 「有名な作家の展示会をもっと増やしてほしい」、「写真をもっと撮れるようにしてほしい」などの意見があった。	S 県主催の企画展以外の空き期間を有効活用し、県民に文化と触れ合う機会を提供するため、今年度は、テレビや新聞社との共催により「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」、「ティラノサウルス—進化の謎に迫る—」展、また「新海誠展『ほしのこえ』から『君の名は。』まで」を実施し、合計で129,428人を動員した。特に「ティラノサウルス展—進化の謎に迫る—」では83,923人を動員し、博物館企画展の歴代3位の入場記録を更新した。	平均満足度は高く、評価できる。展示については、概ね好意的な意見であったが、改善要望があった内容については、可能な限り取り組むとともに、引き続き満足度の高い展示の充実が望まれる必要がある。
総合評価 (各評価項目の平均)	平均満足度 93%	—	平均満足度 93%	評価 (②満足度) S 接客対応や、インバウンド向けの表示の取り組み、自主企画展など来館者サービスの向上を引き続き維持していきたい。	各項目とも高評価の満足度を得ることができている。アンケートの要望等にも対応しつつ、引き続き質の高いサービスの提供に努める必要がある。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

※1: 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)

ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度

— S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

Ⅱ. サービスの質の評価 取組改善案	前年度に引き続き、満足度の高い施設サービス、展示の充実が望まれる必要がある。
-----------------------	--

※Ⅱ. サービスの質の評価の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H31年度)の主な取組改善案を記入してください。

III. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		H29実績	事業計画	H30実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	博物館観覧料	30,988,930	25,090,000	33,020,052	106.6%	131.6%	
	美術館観覧料	7,611,540	5,747,000	10,417,532	136.9%	181.3%	
	その他(年間パスポート等収入)	2,117,700	4,000,000	2,449,700	115.7%	61.2%	
	施設使用料	34,520,341	24,690,000	26,309,234	76.2%	106.6%	
指定管理料		302,470,000	302,470,000	302,470,000	100.0%	100.0%	
自主事業収入		105,205,137	104,431,000	132,561,284	126.0%	126.9%	
雑収益		3,451,603	368,000	2,908,510	84.3%	790.4%	
合計(A)		486,365,251	466,796,000	510,136,312	104.9%	109.3%	
(現状分析・課題) その他(年間パスポート等収入)は計画値を下回っているが、その他の項目は計画値を上回った。平成30年度の収入については、計画額より43,340,312円の増額となった。							

(2) 支出

支出項目	H29実績	事業計画	H30実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費	94,173,391	68,961,000	85,025,196	90.3%	123.3%	
事務費	13,670,978	11,405,000	11,659,461	85.3%	102.2%	
施設管理費 ※委託費	184,794,863	196,062,000	204,928,703	110.9%	104.5%	
光熱水費	111,487,590	100,000,000	124,913,341	112.0%	124.9%	
修繕費	2,004,118	1,500,000	1,967,760	98.2%	131.2%	
集客対策費	12,413,733	10,273,000	9,365,352	75.4%	91.2%	
教育普及事業費	12,168,902	13,000,000	11,866,080	97.5%	91.3%	
諸経費	6,200,495	8,700,000	5,284,310	85.2%	60.7%	
自主事業費支出	90,483,520	91,351,000	111,047,956	122.7%	121.6%	
雑費	906,431	1,000,000	841,077	92.8%	84.1%	
合計(B)	528,304,021	502,252,000	566,899,236	107.3%	112.9%	
(現状分析・課題) 人件費や光熱水費が計画を大幅に上回っているため、計画策定の際の積算を実情に即したものになるようにする必要がある。						

2. 経営分析指標

評価指標	H29実績	事業計画	H30実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	-41,938,770 円	-35,456,000 円	-56,762,924 円	135.3%	160.1%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	-8.6%	-7.6%	-11.1%	129.0%	146.5%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	15.5%	12.8%	14.2%	91.5%	111.0%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	17.8%	13.7%	15.0%	84.1%	109.2%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	35.0%	39.0%	36.1%	103.3%	92.6%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	1,038.3円	1037.4円	1,122.8円	108.1%	108.2%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	594.5円	624.8円	599.1円	100.8%	95.9%	
(現状分析・課題)						
平成29年度に引き続き、事業収支が大幅赤字となっている。人件費を抑えるなどの取り組みは行ったものの、利用者あたり管理コストは、計画値及び実績値を上回っているため、その分析を詳細に行い具体的対策を講じる必要がある。						

評価(③財務状況)

C

【評価基準 (③財務状況)】
 収益率 (事業収支/収入合計)
 A : 0%以上
 B : -5%以上、0%未満
 C : -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	平成29年度に引き続き、事業収支が大幅赤字となっている。人件費を抑えるなどの取り組みは行ったものの、その他の経費については、費用対効果を含め検証に努める必要がある。
----------------------------------	--

※「Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H31年度)の主な取組改善案を記入してください。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	530,233人	530,233人	530,233人	530,233人	
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%	アンケート集計の【総合満足度】を参考
財務指標	③財務状況	収益率	-1.5%	-1.5%	-1.5%	-1.5%	

2. 評価結果

評価項目	評価指標	H29実績	事業計画 (目標値)	H30実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	R1(H31) 目標値	
				前年比	計画比					
成果指標	①利用状況	利用者数	508,822人	484,122人	504,894人	99%	104%	合計は、計画値を上回っているものの、無料入館者については、計画を上回るよう誘客に向けて取り組む必要がある。 施設稼働率については、県民ギャラリーが、前年度より稼働率が低下しているため、より稼働率が上がるよう取り組む必要がある。 平成30年度は自主事業として多くの企画展を開催し、観覧者数が平成29年度に比べ120%増となった。今後も誘客に繋がる自主事業の実施に取り組んでいく必要がある。	A	504,245人
	②満足度	満足度	93%	—	93%	100%	—	接客対応や、インバウンド向けの表示の取り組み、自主企画展など来館者サービスの向上を引き続き維持していきたい。	S	90%
財務指標	③財務状況	収益率	-8.6%	-7.6%	-11.1%	129%	—	その他(年間バスポート等収入)は計画値を下回っているが、その他の項目は計画値を上回った。平成30年度の収入については、計画額より43,340,312円の増額となった。	C	-1.5%
活動指標	④重点取組事項	来館者増を重点目標とし、季節催事などを実施していく。 例：誕生祭(11月)+旧正月(2月)	18,646人	21,000人	17,311人	93%	82%	実績値が、前年度実績や計画値に比べ低いことから、より重点的に取り組む必要がある。	B	25,000人
総合評価							A			

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I~IIIから転記する。
 ※「H30目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度(各評価項目の平均値)

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

③財務状況

収益率(事業収支/収入合計)

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S : 目標を大きく上回る

A : 目標を概ね達成

【総合評価基準】

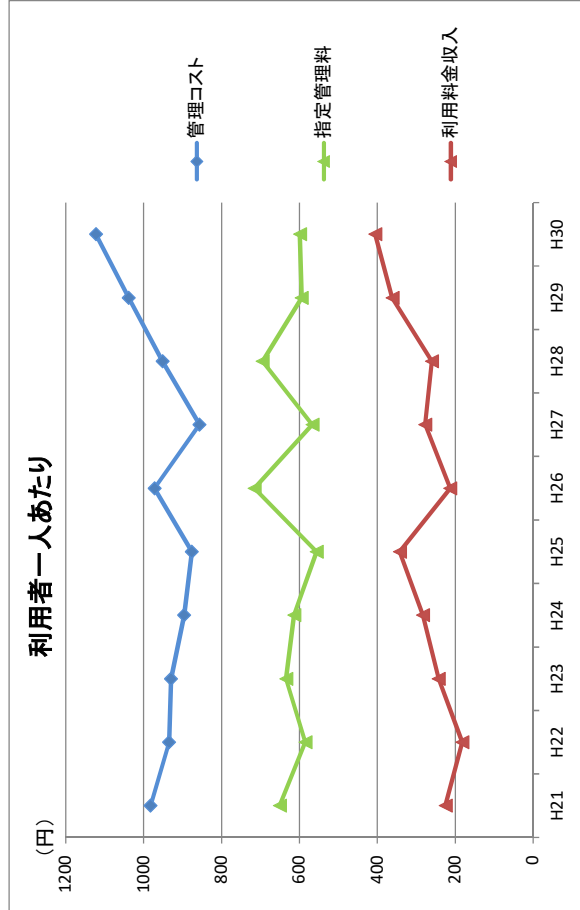
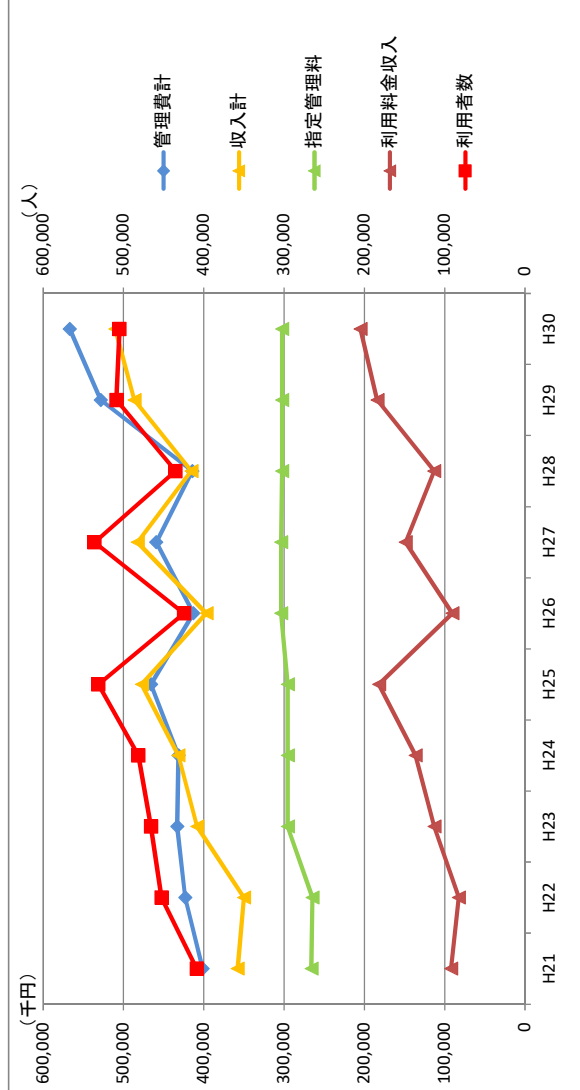
A	総合評価 (合計点数)
S	35点以上
A	20点以上
B	10点以上
C	9点以下

(各評価項目点数)

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

施設名称：沖縄県立博物館・美術館

成果指標	指標	指定管理													
		単位	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
利用者数	目標	人	535,600	516,240	422,254	457,038	480,000	483,191	488,606	351,824	465,317	484,122	504,245	530,233	530,233
	実績	人	408,670	452,502	465,649	481,373	531,344	424,602	535,994	435,239	508,822	504,894			
	目標比	%	76.3%	87.7%	110.3%	105.3%	110.7%	87.9%	109.7%	123.7%	109.3%	104.3%			
	H21比	%	111%	114%	118%	130%	104%	131%	107%	125%	124%				
財務指標	指定管理料	千円	266,051	264,753	295,427	295,427	295,427	303,867	303,867	302,470	302,470	302,470	305,271	305,271	305,271
	職員負担割合(指定管理料/管理費計)	%	66.3%	62.6%	68.2%	68.5%	63.4%	73.6%	66.2%	73.0%	57.3%	53.4%			
	利用料金収入	千円	91,918	82,358	112,974	136,151	181,955	90,533	148,719	113,073	183,895	204,758			
	収入計	千円	357,969	349,983	408,401	431,578	477,382	396,716	482,373	415,544	486,365	510,136			
管理費計	千円	401,530	422,966	433,060	431,339	465,764	412,917	459,186	414,293	528,304	566,899				
収支	千円	-43,561	-72,983	-24,659	239	11,618	-16,201	23,187	1,251	-41,939	-56,763				
収益率(収支/収入計)	%	-12.2%	-20.9%	-6.0%	0.1%	2.4%	-4.1%	4.8%	0.3%	-8.6%	-11.1%				
一人あたり管理コスト	円	983	935	930	896	877	972	857	952	1038	1123				
一人あたり指定管理料	円	651	585	634	614	556	716	567	695	594	599				
一人あたり利用料金収入	円	225	182	243	283	342	213	277	260	361	406				



特記事項

H29年度 指定管理者による自主企画展を4本開催したほか、大型貸館展示会(テオ・ヤンセン展)があった。また開館10周年の広報宣伝やイベントを積極的に展開した結果、利用者数および収入、費用が増加した。

H28年度 今期指定管理業務の初年度であるため、指定管理者による自主企画展を行わなかった。そのため利用者数および収入、費用が減少した。

H27年度 美術館で開催された「末栗武展」などの各企画展が好評を博し、観覧料収入が増加したこと、収支も黒字となっている。

H26年度 大型の企画展が無く光熱費等は減少したものの、有料観覧者数が激減したため、赤字となった。また、総入館者数も前年度より10万人少ない424,602人となった。

目標設定の考え方

H30年度

H31年度 指定管理最終年度であるH32年度の目標入館者数を530,233人と定め、指定管理5年間で段階的に達成に近づけるよう各年度目標を設定した。主要ターゲットを県民、県外・海外観光客、貸館利用者として定め、それぞれに最適な施策を展開する。

H32年度

H33年度

別紙② アンケート集計結果

7.アンケート集計

平成30年度「総合アンケート」集計（集計期間：2018年4月～2019年3月）

（回収件数：3,299 単位：人）

問1 年齢									
①10歳未満	②10代	③20代	④30代	⑤40代	⑥50代	⑦60代	⑧70歳以上	無回答	
765	859	352	282	340	255	243	155	48	
問2 性別									
男性	女性	無回答							
1453	1807	39							
問3 お住まい									
県内	県外	無回答							
2050	980	269							
問4 職業									
①会社員	②公務員	③自営業	④家事	⑤学生	⑥その他	無回答			
578	189	177	191	1523	518	123			
問5 誰と来館したか									
①一人	②友人・知人	③家族	④団体	⑤仕事	⑥修学旅行	⑦ツアー旅行	⑧その他	無回答	
715	504	1643	136	30	114	26	61	70	
問6 来館時の交通機関									
①自家用車	②タクシー	③レンタカー	④モノレール	⑤路線バス	⑥観光バス	⑦貸切バス	⑧バイク・自転車	⑨徒歩	⑩その他
1593	131	280	413	144	91	115	82	332	24
無回答									
94									
問7 何回目の来館？									
初めて	2回目	3回目	4回目	5回以上	無回答				
1280	458	323	147	1012	79				
問8 来館目的(複数回答)									
①博物館常設展	②博物館企画・特別展	③美術館コレクション展	④美術館企画展	⑤ふれあい体験室	⑥講座室・講堂での催事	⑦県民ギャラリー	⑧情報センター	⑨その他	
1067	1240	619	587	147	58	105	49	121	
問9 来館目的となった情報源(複数回答)									
①クチコミ(SNS等)	②テレビ	③ラジオ	④新聞	⑤雑誌	⑥チラシ・ポスター	⑦インターネット	⑧友人・知人	⑨職場	⑩その他
210	605	66	297	98	647	476	434	57	326
問10 来館目的以外に利用した施設(複数回答)									
①博物館常設展	②博物館企画・特別展	③美術館コレクション展	④美術館企画展	⑤ふれあい体験室	⑥講座室・講堂での催事	⑦県民ギャラリー	⑧情報センター	⑨その他	
601	425	404	291	339	84	161	137	145	

問11 どのチケットで入場したか					
①当日券	②前売券	③年間パスポート	④1 DAY PASS	⑤その他	無回答
1965	382	68	200	245	439

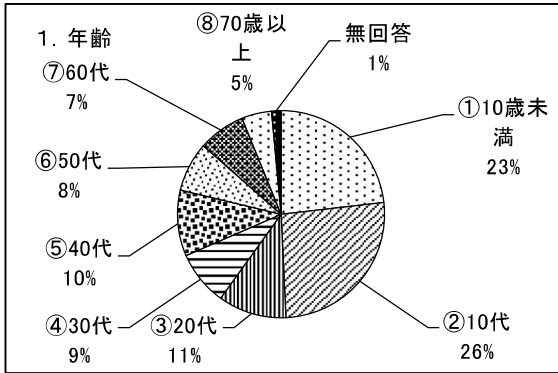
問12 展示内容について				
①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	無回答
1489	1147	133	64	466

問13 常設展も併せて観たか		
①観た	②観なかった	無回答
1495	1122	682

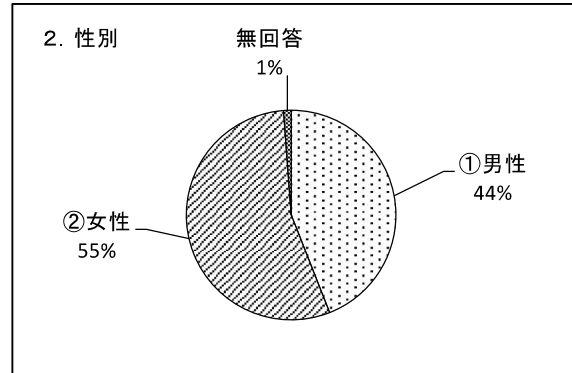
問14 当館をご利用になって						
総合案内係の対応	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	848	1142	62	27	443	777
チケット販売係の対応	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	790	1121	72	21	455	840
展示室係の対応	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	782	1109	101	47	385	875
駐車場係の対応	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	447	714	61	24	1022	1031
案内板・サイン	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	無回答	
	688	1295	154	58	1104	
カフェ「カメカメキッチン」	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	266	290	27	17	1593	1106
ショップ「ゆいむい」	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	323	470	25	21	1357	1103
総合満足度	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	無回答	
	966	1155	95	37	1046	

問15 博物館・美術館でやってみたいこと、やってほしいこと(複数回答可)	
①アニメ、マンガ、ファッションに関する展示を観たい	729
②有名な作品が見たい	522
③子どもの学習や自由研究に活かせる展示を観たい	498
④家族で楽しめる展示を観たい	493
⑤沖縄の歴史・文化・自然・美術等について学びたい	663
⑥沖縄の伝統文化や生活様式等を体験・体感したい	447
⑦作品発表会や芸能公演、ライブ・パフォーマンス等への開催・参加	223
⑧オリジナルグッズの購入	304
⑨沖縄の美術工芸品や工芸品、雑貨類の購入	310
⑩沖縄の伝統料理や菓子等を味わいたい	360
⑪子ども(乳幼児含む)と一緒にくつろぎながら作品を観賞したい	157
⑫その他	89

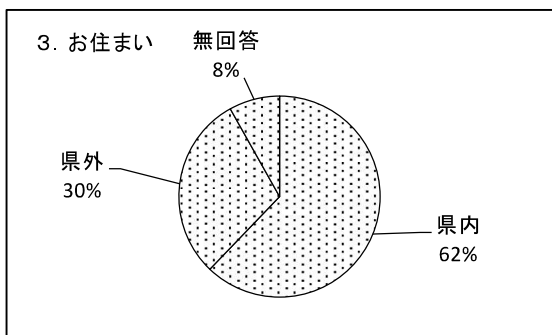
問1 年齢



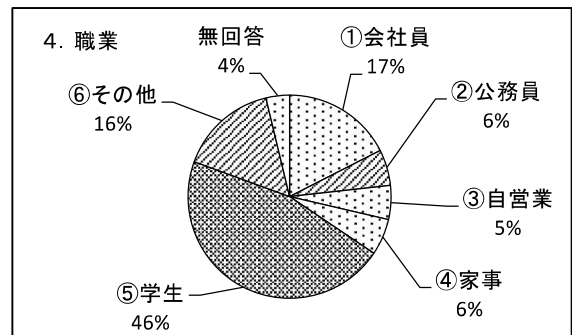
問2 性別



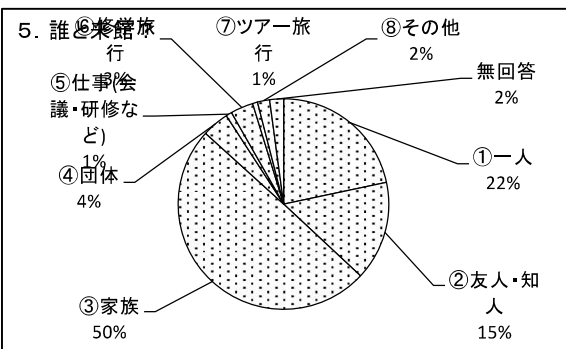
問3 お住まい



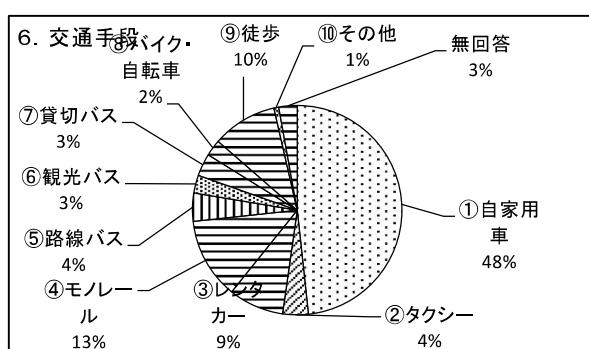
問4 職業



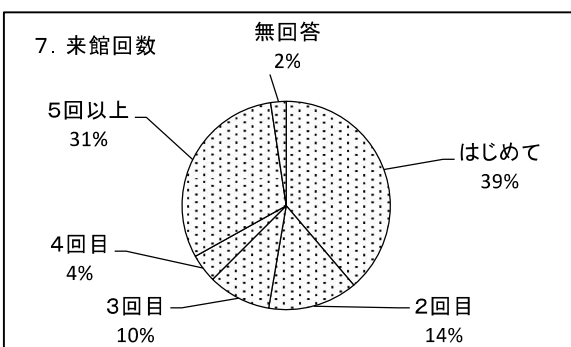
問5 誰と来館したか



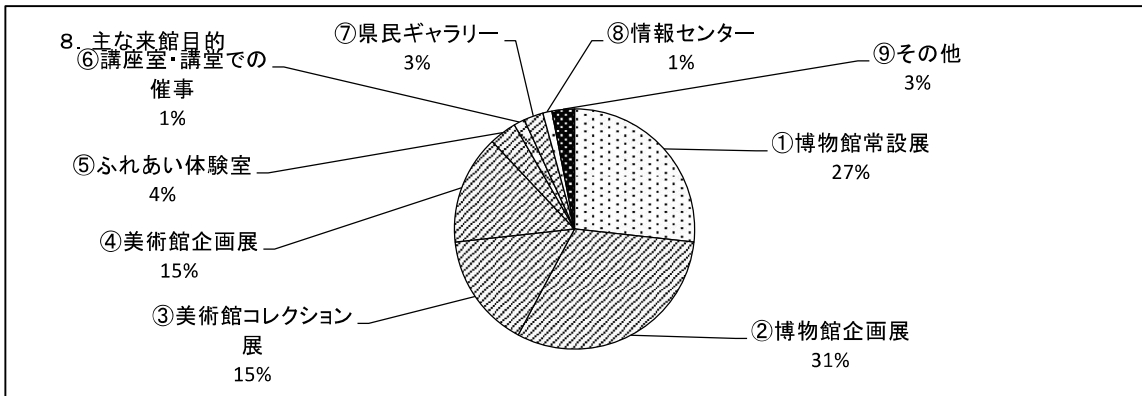
問6 来館時の交通機関



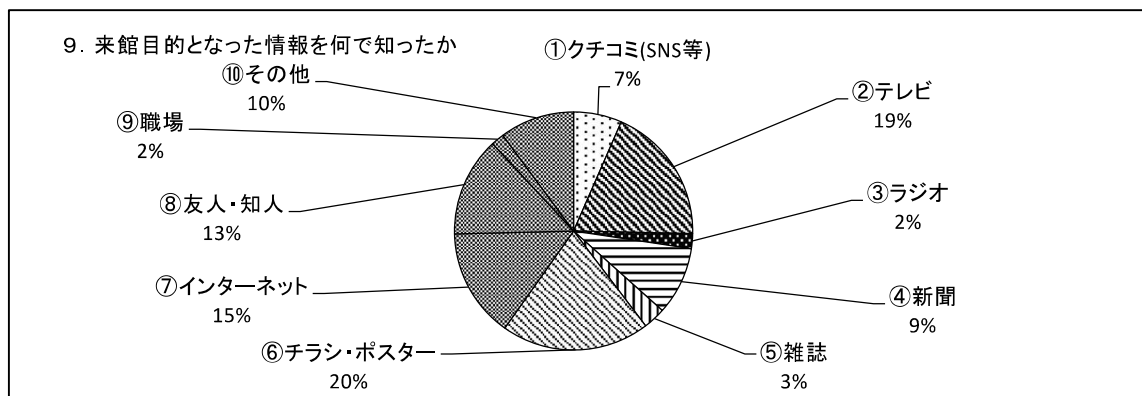
問7 何回目の来館?



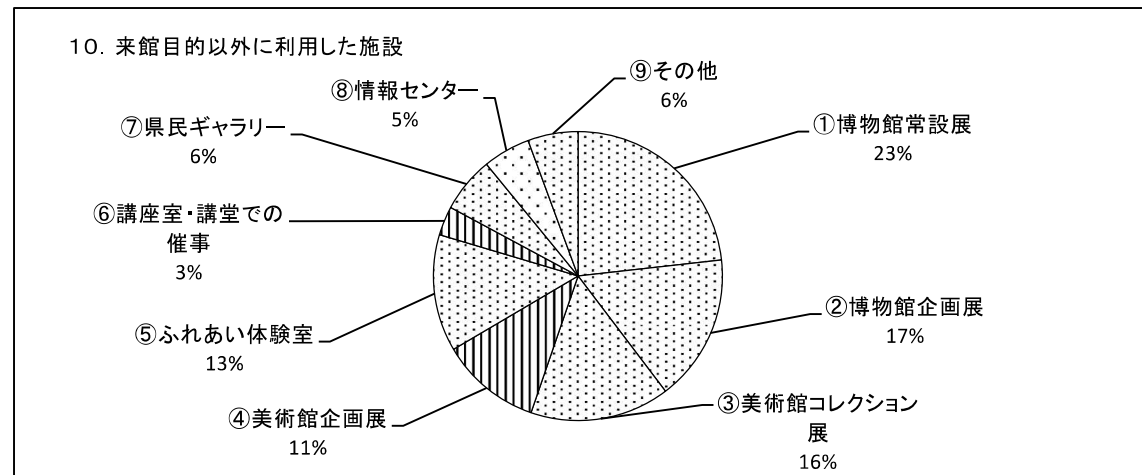
問8 来館目的(複数回答)



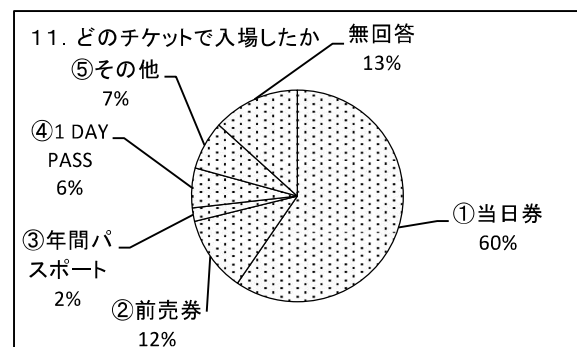
問9 来館目的となった情報源(複数回答)



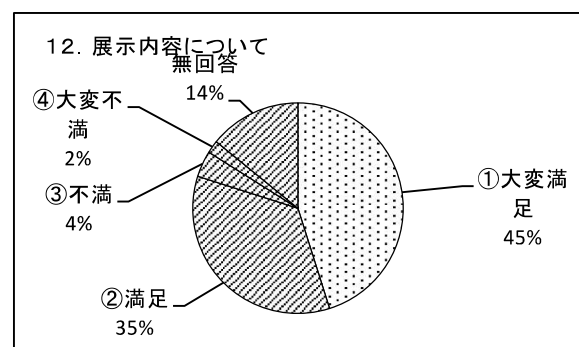
問10 来館目的以外に利用した施設(複数回答)



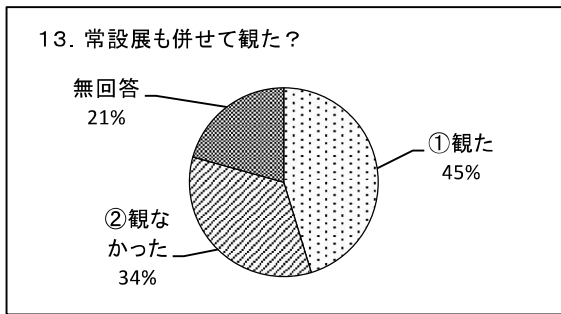
問11 どのチケットで入場したか



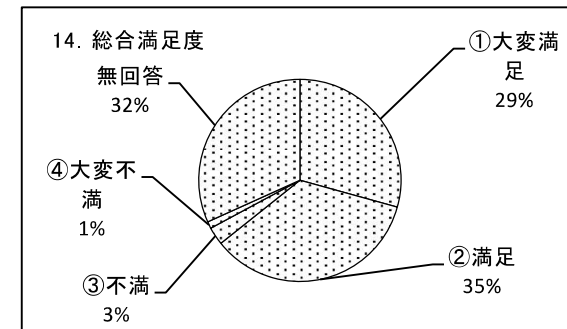
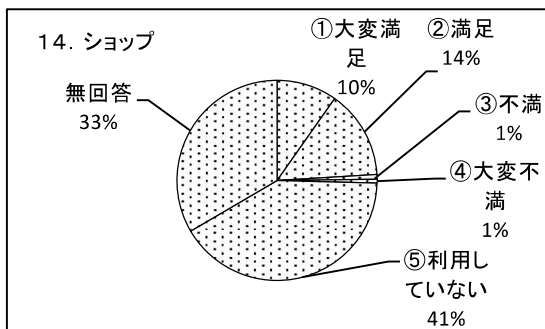
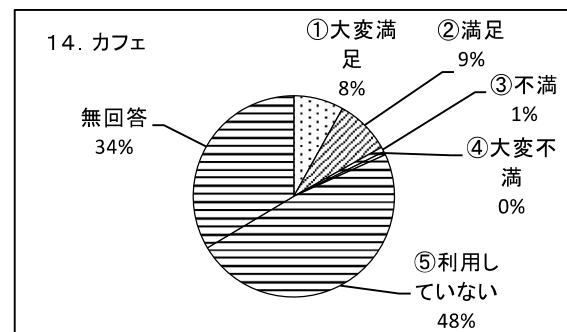
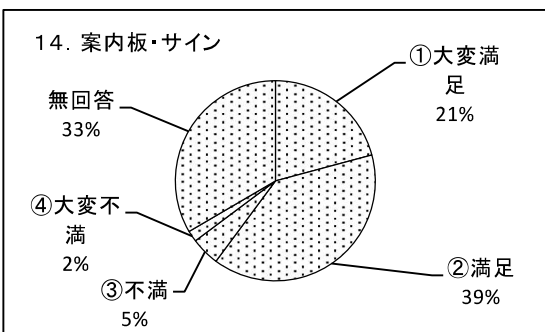
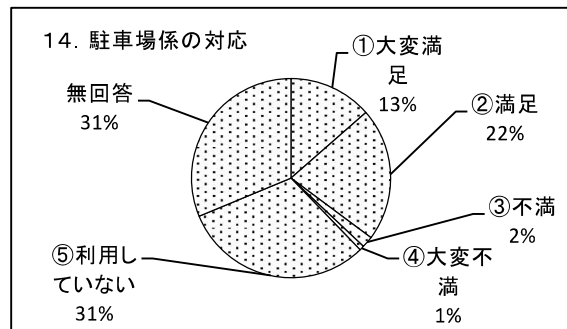
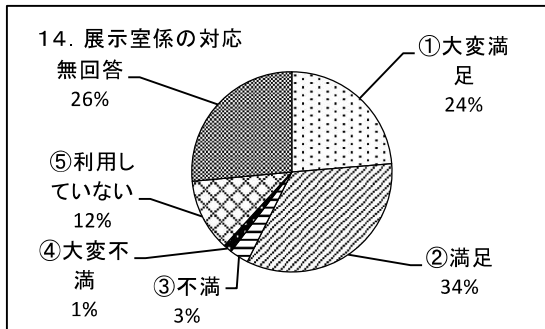
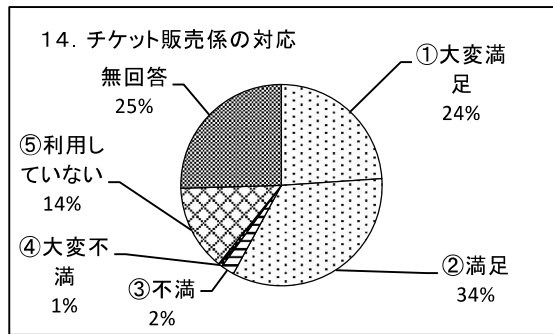
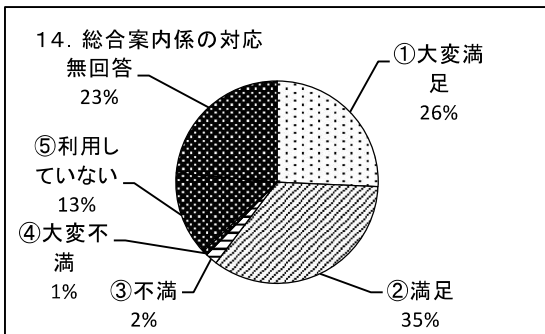
問12 展示内容について



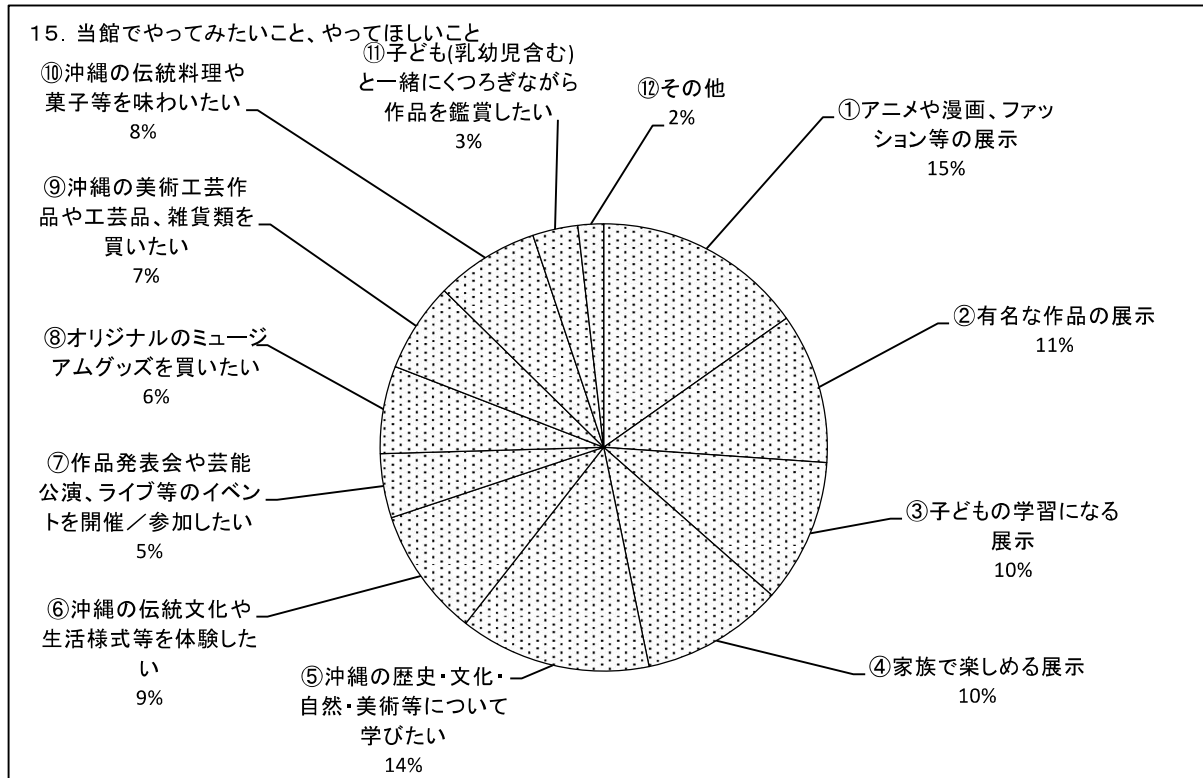
問13 常設展も併せて観たか



問14 当館をご利用になって



問15 博物館・美術館でやってみたいこと、やってほしいこと(複数回答可)



労働条件等自主点検表

施設名称	沖縄県立博物館・美術館	対象年度	平成30年度
指定管理者名	一般財団法人沖縄美ら島財団		

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所には○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果																									
<p>1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職(解雇の事由を含む。)については、書面を交付しなければなりません[労働基準法(以下「法」といいます。)第15条]</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																					
	1	2	3	4	5																					
	(3～5については、改善が必要です)																									
<p>2 就業規則 就業規則(労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職(解雇の事由を含む。)等、労働条件の具体的細目を定めた規則)を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者(パートタイム労働者を含む。)を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません(法第89条) また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません(法第106条)</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																								
		作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない																					
	1	2	3	4	5																					
	(3～5については、改善が必要です)																									
<p>3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません(法第35条)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3">週休2日制</th> <th colspan="2">週休1日制</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <th>完全(毎週)</th> <th>月3回</th> <th>隔週</th> <th>月1～2回</th> <th>週1日</th> <th>4週4日</th> <th>4週3日以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table>						週休2日制			週休1日制		その他	完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	1	2	3	4	5	6	7
週休2日制			週休1日制		その他																					
完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																				
1	2	3	4	5	6	7																				
	(7については、改善が必要です)																									

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
1	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

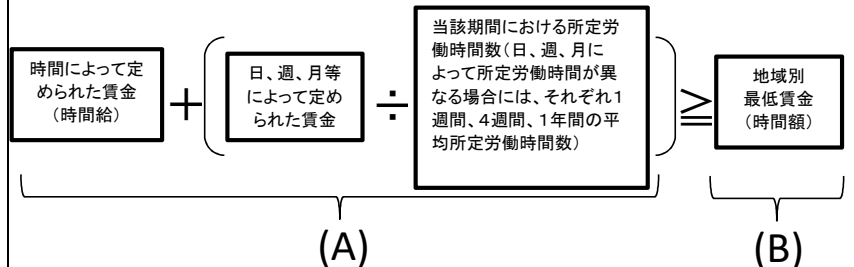
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
1	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険 加入従業員数	うち雇用保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	72	25	47

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	加入条件を満たしている従業員は全て加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	加入要件を満たしていないため。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険 加入従業員数	うち健康保険 未加入従業員数	うち厚生年金保険 加入従業員数	うち厚生年金保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	72	25	47	25	47

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	加入条件を満たしている従業員は全て加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	加入要件を満たしていないため。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。